

⑦ もっと楽しく勉強を

「楽しい授業」、それは耳触りのいい言葉です。勿論楽しいだけでは困りますし、苦しい中でがんばる時間がある方がいいのは当然のことです。でも同じことを学ぶのに楽しかったはいけないということはありません。

生駒台小学校の校歌に歌われた「歩いていこう自分から」の子どもに育てていくためにも、学習の楽しさを味わわせてやりたいと思いました。学習に楽しく取り組むことができたという体験は、自ら学ぶ力を育み、生涯にわたって学習する気持ちを培うことができるに違いありません。そこで、奈良県教育委員会・生駒市教育委員会から指定を

受けて、「楽しい授業をつくる教材の開発・工夫」をテーマにした研究に取り組みました。それは平成2・3年度のことでした。

この研究成果の発表には、発表会の形式をとらず、1冊の本にすることにしました。ちょっとばかり自信のあるワープロです。仕事の合間を使ってキーボードを叩きました。プリントアウトしたものに図版を貼り付け、版下を作りました。これをフィルムにし、



オペといわれている作業を済ませ、アルミ板に焼き付ければオフセット印刷機にかけることができるわけです。これも私に経験のある仕事です。版下の作成まで自分でやったために、費用を大幅に削減することができました。そこで、本校名物の「屋上の地図広場」を描いた6年生の作品を豪勢にフルカラーで印刷し、この冊子の表紙にすることにしました。

できあがったA5判90ページの本を、文部省の関係官、奈良県教育委員会と47の市町村教育委員会、県内の教育関係機関・団体、県内すべての小学校、そして、市内の小・中学校と幼稚園に送りました。この内容を目次に沿って簡潔にまとめると次のようになります。

はじめに

- I 「歩いていこう自分から」の子どもを育てる＝この項では、学校の教育目標を具現することを基本に研究主題の意味を考えました。
- II 教材ってなんだろう？＝研究テーマの中に出てくる「教材」の意味、「楽しい」の意味を考えました。
- III 研究を進めていくために＝研究の進め方と私たちの取り組みをまとめました。
- IV こんなことをやってきた＝いろいろな工夫をした次の10項目の実践について詳しく述べ、取り組みを評価しました。
 - (1) 屋上を教材にする－楽しい地図の広場づくり－
この書の「ち」の項に書いた全校あげての取り組みです。
 - (2) 教室に春夏秋冬を－季節感のある教室をつくる－
勉強の場、生活の場、休息の場である教室環境の工夫です。
 - (3) こんな葉書でもだいじょうぶ？－手づくりのはがき－
手づくりのはがきに宛て名、差し出し人の名前、本文を書き、これを投函することから、手紙のこと、郵便のことを学びました。

- (4) 私たちの校区を学ぶー生駒の学習資料づくりー
「教えるに、やるに」と言われる身近な地域の学習を楽しむ
くするパズルもできました。
- (5) 四角形の作図を学ぶーVTRを生かした学習ー
自作の教材で楽しい算数の時間を追求しました。
- (6) 燃えるということー火と空気・酸素と二酸化炭素ー
「り」の項に書いた「二酸化炭素の中でも燃える」が登場します。
- (7) 劇団「葉°津君狼」の公演ーブラックライト劇場ー
紫外線ランプで光る塗料を使った人形を使いました。
- (8) 大人へのパスポートーぼくの成長・わたしの成長ー
性についての学習、まだこうした取り組みが少ないころでした。
- (9) 皮むきは家庭でもー学校だけが教室じゃないー
お手伝いも勉強です。身と皮の比率を計算し向上に役立てました。
- (10) コンピュータも先生ですーたった1台のパソコンですがー
円の面積の求め方を考えさせる教材を作ってみました。

V ほかにもたくさんの実践が……＝ここではたくさんの実践の要
点を紹介しました。

○大麦を育てよう＝生活科の学習で大麦を植えました。収穫して麦
茶にしました。子どもたちののどをうるおしました。

○おかあさんのしごと＝お母さんの言葉には「早く」が多いという
発見から、お母さんの仕事を考えさせた取り組みです。

○雨の日を楽しく＝ごみ袋を材料にしてレインコートを作り、これ
を着て運動場を歩き、雨の日の様子を探検しました。

○わたしたちの町＝生駒の町を学習するための教材を工夫しまし
た。校区の地図を作ったり、ビデオで撮影したりしました。

○折れたじしゃく＝片方がN、もう一方がSという磁石が折れたら

どんな磁石になるのかなと考えさせるときの工夫です。

- 国語辞典ひき大相撲＝単純な学習の1つである国語辞典ひきに興味を持てるようにした工夫の1つです。
- 茶釜づくりへの挑戦＝生駒の伝統産業である茶釜について調べ、実際に茶釜を作り、自分の作った茶釜でお茶会を開いたという楽しい学習です。
- 星を指示する棒＝私の作品、豆電球を並べた長い棒です。これを使うと観察する星の方向がよく分かります。これ以外にも新しいものを工夫し、「やっぱり理科は面白い」に書きました。
- 丸底フラスコで光を集める＝水を入れた丸底フラスコに太陽の光をあてて紙こがしに挑戦しました。凸レンズとの共通点を発見しました。
- 学級の枠を超えた仲間づくり＝学年グループの活動を高めた社会見学と野外活動のまとめです。
- 予習・復習カードの活用＝主体的に学習する意欲を高めようとして取り組んだカード学習の工夫です。
- 絵皿を作る＝絵は長方形の紙に描くと決まっている訳ではないという発想からの絵皿づくりは、子どもたちの意欲をかきたてました。これは平成4年1月11日付けの日本教育新聞で全国に紹介されました。
- 教室便利GOODS＝「こんなものが、こんなふうに教室で使えるよ」という発見を紹介しました。

ちょっとした工夫や新しい素材が学習を楽しくしてくれます。V章だけでも70あまりのいろいろな工夫を載せたこの冊子は、「なかなか面白かったよ」「これからの指導の参考にします」などの感想とおほめの言葉をいただきました。